

# 子宮頸がん検診って、どんな検査？

～実際の検診の流れをチェックしよう！～

実際に子宮頸がん検診は何をするのか、検査がスムーズに終わるポイントをお伝えします。

**事前** 事前に問診の記入をお願いします

**診察台へ** 下着を外した状態で診察台にのります

診察台にすわるときは、

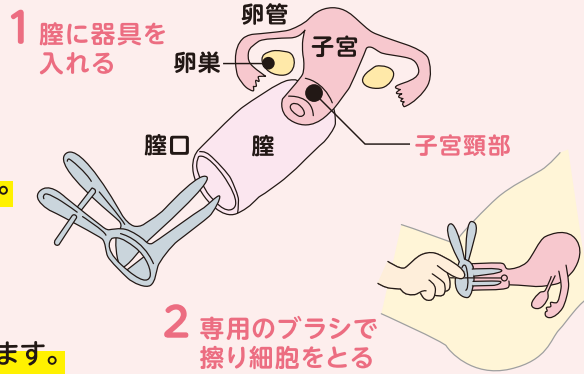
- ①スカート(バスタオル)類は腰まであげます  
お尻は、台の奥深くに腰掛けます
- ②診察台は、自動であがり脚がひらきます  
台が動いているときは、体を動かさないようにお願いします



**診察**

**1 視診**

子宮頸部周辺を  
観察するため  
膣に器具を入れます。



**2 細胞診**

子宮頸部周辺を  
専用のブラシで擦ります。

2 専用のブラシで  
擦り細胞をとる



実際のブラシ

診察時間は数分で終了します(必要に応じて内診をする場合があります)



**POINT!** 診察は、身体力が入っていない方が痛みを感じにくいのでリラックスした状態で受診することが最も大切です。全身の力を抜き、ゆっくりと長い息を吐くことを意識して受診しましょう。

**診察終了** 検査が終了したら診察台を下ろします

台が自動で止まり、足が床につくまでお待ちください

安全のために**手すり**を  
かるくお持ちください。



**検査後の注意事項**

検査の影響で検査後数時間～数日にわたり、出血する場合があります。  
少量であれば心配いりませんが、1週間程度続く場合や痛みが激しい時は産婦人科を受診してください。

子宮頸がん検診は短時間で終わる検査です。  
検査のポイントを意識して、子宮頸がん早期発見のため、定期的に受診しましょう！

ほとんどの市町村では、がん検診の公費負担制度があり、一部の自己負担で受診できる場合があります。  
お住いの市町村にご確認ください。

「がんネットみやざき」で検索できます➡

